

# 令和7年度 BIMライブラリ技術研究組合 (部会2・BLCJ)活動 (中間報告)

建築BIM推進会議2025/12/24

**BLCJ**

### R7年度の活動について

- 本年度は技術研究組合としての研究活動の7年度目である。
- R7年度の研究活動は、
  - ①BIMオブジェクト標準を拡充・整理し、標準Ver.2.1として公表
  - ②既存の試験研究を総括報告書として整理
- R7予算での「建築BIMによる設計環境整備調査」については、新たにタスクグループを立ち上げ、調査業務を実施している。
- 上記の調査業務と試験研究とは、整合性を図り、相互に補完するよう実施している。

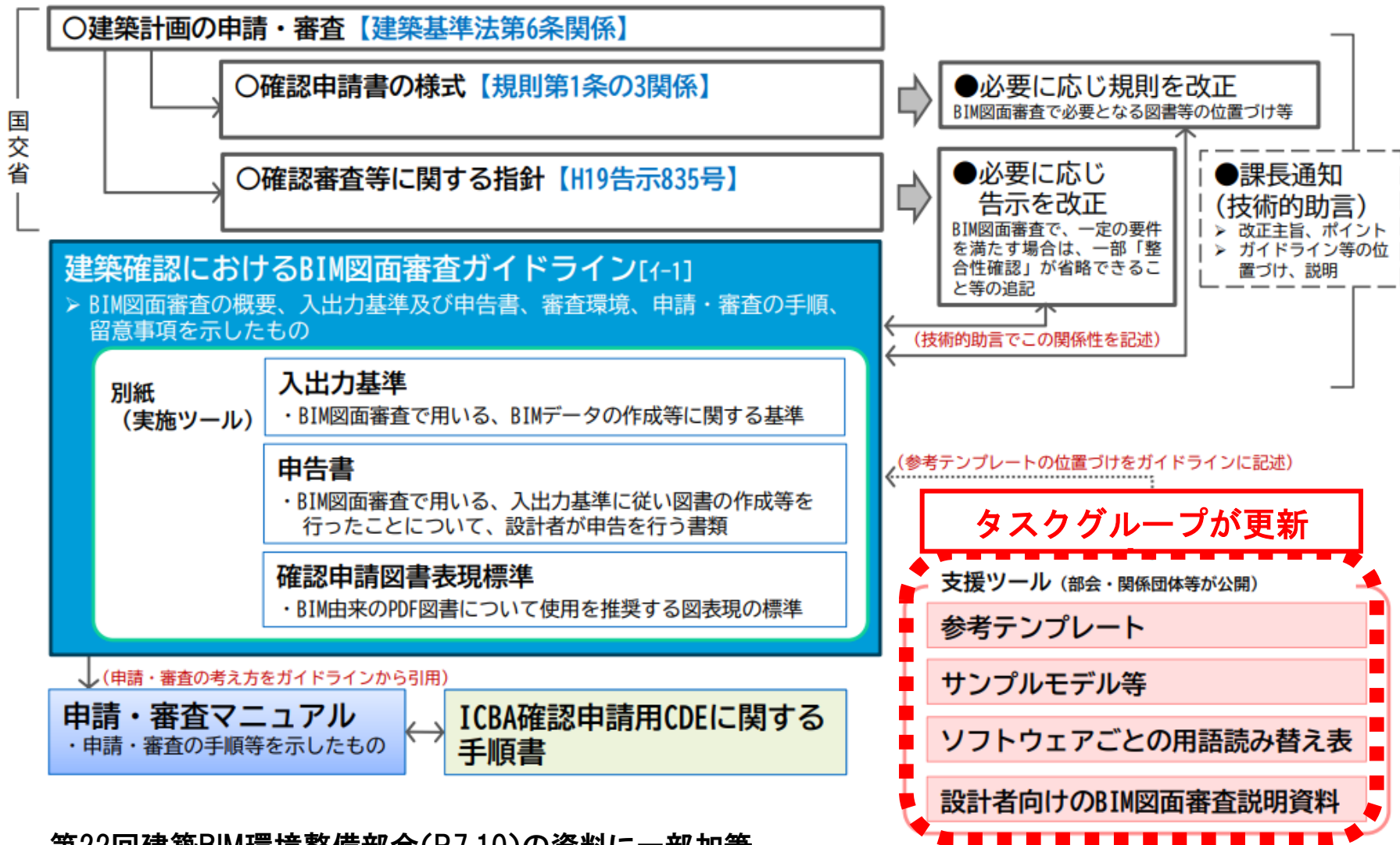
## 2. 2025(R7)年度活動計画

	4月-6月	7月-9月	10月-12月	1月-3月
在り方部会	<div>・BIMライブラリの試行結果の意見聴取 ・BIMライブラリの構築・運用の総括、活用方策の検討</div>			<div>①標準Ver.2.1 の公表・説明</div> <div>②総括報告 書の作成</div>
建築部会	<div>・BIMオブジェクトの標準化の総括(建築領域) ・標準Ver. 2.0の整理・拡充/・メーカー等への普及</div>			
設備部会	<div>・BIMオブジェクトの標準化の総括(設備領域) ・標準Ver. 2.0の整理・拡充/・メーカー等への普及</div>			
運用部会	<div>・関連規約、知的財産権の総括</div>			
連携部会 (テーマ4含む)	<div>・設計から維持管理までの円滑な情報伝達の総括 ・周辺領域の技術開発の情報収集の総括</div>			
BIM図面審査 タスクグループ	<div>・BIM図面審査に関する設計者支援ツールの改良等</div>			

# 建築BIMによる設計環境整備調査

## BIM図面審査の開始に向けた

### ■ ガイドライン・マニュアル、各種ツールの位置づけ



第22回建築BIM環境整備部会(R7.10)の資料に一部加筆

# 建築BIMによる設計環境整備調査

- 設計者が参照できるサンプルモデルについて、RC造3000㎡庁舎モデルを追加したほか、申告書の書式や参考テンプレートなどを適宜更新している。
- サンプルモデル（事務所モデル、庁舎モデル）については、意匠、構造、設備を合わせ、11月20日現在で1万件を超えるダウンロードがある。



BLCJ		トップページ	トピックス	活動内容	組織概要	組合員ページ	アクセス	Q
BIM図面審査サンプルモデル		ホーム / BIM図面審査サンプルモデル						
●配付中のファイル一覧		S造1000㎡事務所モデル				RC造3000㎡庁舎モデル		
BIMソフトウェア		サンプルモデル	参考テンプレート	PDF出力例	申告書記入例	サンプルモデル	PDF出力例	申告書記入例
意匠	Revit 2022	○	○	○	○	○	○	○
	Archicad	○ (Archicad26)	○	○	○	○ (Archicad27)	○	○
	Vectorworks 2024	○	○	○	○	—	—	—
	GLOOE 2025	○	○	○	○	—	—	—
	参考IFC	○				○		
構造	Revit 2022	○	○	○	○	○	○	○
	参考IFC	○				○		
設備	Revit 2022	○	○	○	○	○	○	○
	Rebro	○	○	○	—	—	—	—
	CADWe'll T-fas/Linux	○	○	○	—	—	—	—
	CADEWA Smart	○	○	○	—	—	—	—
	FILDER CEED	○	○	○	—	—	—	—
	参考IFC	○				○		



# 建築BIMによる設計環境整備調査

設計者を主たる対象として

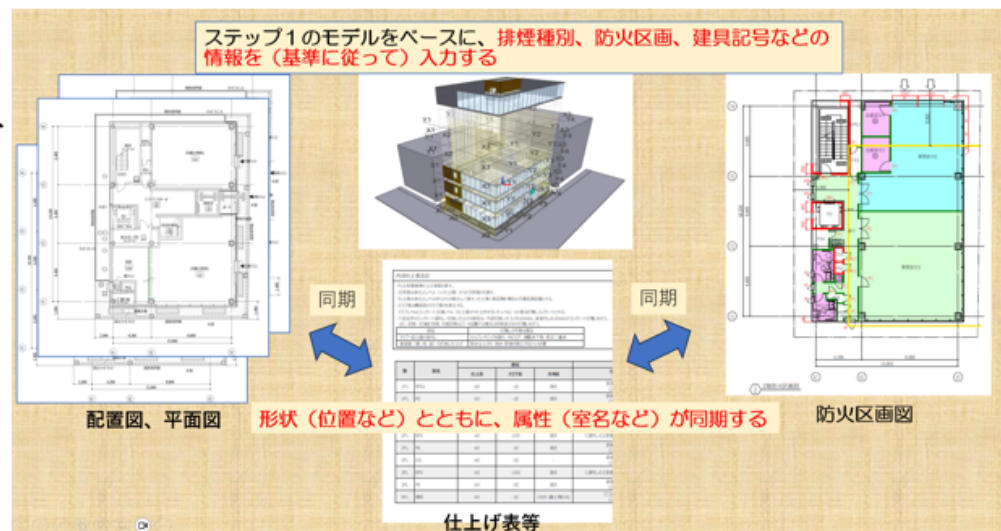
「**BIM図面審査の講習動画(設計者向け)**」([Youtube版](#)、[PPT版](#))を作成し、BIMライブラリ技術研究組合のホームページで**11月末に公開した**。

「**BIM図面審査に関心を持っていただくこと**」を目的とし、BIM図面審査に取り組むにあたってのヒントなど、**実務に役立つ内容に重点**を置いている。

## 【コンテンツ】

1. BIM図面審査の位置づけ、ねらい
2. BIM図面審査のコンセプト、基本的な仕組み
3. 設計者にとってのメリット
4. 「BIM図面審査」導入のヒント
5. 申告書作成のポイント
6. BIM設計の留意点など

## 【スライドの一部】



## 1. BIMオブジェクトの標準化

・標準Ver. 2.0については、検討・整理、対象範囲の拡充を行い、BLCJ BIMオブジェクト標準Ver.2.1として整理し、2026年2月に公表と説明会の開催を予定している。

### [建築]

・建築では、標準Ver. 2.0で示した窓、ドア、シャッター、衛生器具、エレベータに加えて、新たに空間オブジェクトに関する標準を加え、実業務での利用をより円滑にすることに努めた。

### [設備]

・建築確認に必要なオブジェクト・項目等の拡充(電気設備が主)

■標準Ver. 2.0(建築分野)を見直し、対象範囲を拡充し標準 Ver.2.1へ(2026年2月公表)

意匠 建具/機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準Ver. 2.0(改定2版) (建築意匠) の見直し 名称ルールの整理・表現の統一 / 対象範囲の拡充、属性項目の追加</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準Ver.2.0 ((改定2版)を見直し、標準Ver2.1とする</li> </ul>
意匠 空間オブジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに標準Ver. 2.1 属性項目リストと仕様解説書を追加 企画・設計から維持管理までの建物LCマネジメント情報・管理情報の蓄積・フィードバック追加検討 ユースケースに対応した情報整理し、BIMの特徴を生かした情報の見せ方も検討</li> </ul>

グループ	属性項目名	タイプ	説明・備考	利用場面							
				S0	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7
				空間オブジェクト							
				ボリ ャ	ボリ ャ	ソ ン ホ (空)	部 屋 (空)	部 屋 (空)	部 屋 (空)	部 屋 (空)	

8-3. パラメータ解説

3D

側面

平面

正面

上：「空間オブジェクト」属性項目リスト（抜粋）  
右：標準Ver. 2.0改訂2版仕様解説書（抜粋）



■標準Ver. 2.0(建築分野)を見直し、対象範囲を拡充し標準 Ver.2.1へ(2026年2月公表)

構造	<ul style="list-style-type: none"><li>構造標準 改訂6版 に向けた検討 新たに<b>免震装置</b>、<b>構造スリット</b>を追加 / 標準化TFリストの要素を含む修正を実施</li><li>カタログサイトの構築の方法について検討 ⇒活動報告書で報告 業務効率化に繋げる観点から、カタログサイトのメンテナンス性等の問題の解決のために運用の在り方、方法を具体的に検討（例：既存の大臣認定品のデータベースの活用）</li></ul>
情報活用	<ul style="list-style-type: none"><li>標準Ver. 2.0実装検証（Revit / Archicad） ⇒活動報告書で報告 実際に標準Ver. 2.0の属性情報をオブジェクトに適用し、手順や問題点を考察</li></ul>

部材の種類	パラメータの分類			BLCJ標準							備考				
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報							
構造スリット	識別情報			符号	name	String	○				構造標準「免震装置（円型積層ゴム支承）」/「構造スリット」				
				製品型番1	product_code1	String	○	製品型番1とリリース時期1							
				リリース時期1	release_time1	String	○								
				製品型番2	product_code2	String									
				リリース時期2	release_time2	String									
				製品型番3	product_code3	String									
	配置情報			リリース時期3	release_time3	String									
				ホスト	host	String		免震装置（円型積層ゴム支承）							
				オフセットX	offset_X	Double									
				オフセットY	offset_Y	Double									
	解析情報			配置方向	direction	String									
				解析で使用するか否か	isCalculation	Boolean									
	寸法情報	振れ止め筋		幅	B	Double									
	配筋情報			径	D_anti_sway	String									
				ピッチ	pitch_anti_sway	Double									
	性能情報	スリット性能		種類	kind_slit	String									
		耐火性能		試験方法	test_method_fire_resistance	String									
				性能	performance_fire_resistance	String									
		水密性能		試験方法	test_method_watertightness	String									
				性能	performance_watertightness	String			製品型番1および2が記載された場合は、同等品として選択可能な状態を表す						
	遮音性能			試験方法	test_method_sound_insulation	String									
				性能	performance_sound_insulation	String									
	変形性能			適合基準	performance_deformation	String									
	利用者情報			データ作成日	creation_date	Date									
				特記事項	remarks	String									
部材の種類	パラメータの分類			BLCJ標準							備考				
	大分類	中分類	小分類	項目	名称	データ型	断面情報	配置情報							
構造スリット	識別情報			符号	name	String	○				構造標準「免震装置（円型積層ゴム支承）」/「構造スリット」				
				種類	type	String	○	製品種類を表し以下による NRB（天然ゴム系）、HDR（高減衰ゴム系）、LRB（鉛プラグ入り）、TRB（錫プラグ入り）							
				製品情報			製品型番1	product_code1	String	○		製品型番1の記載がない場合、製品の特定がされていないことを表す。製品型番1のみが記載された場合は、製品が特定されたことを表す			
							リリース時期1	release_time1	String	○					
				製品型番2	product_code2	String	○	製品型番1および2が記載された場合は、同等品として選択可能な状態を表す							
				リリース時期2	release_time2	String	○								
	配置情報			製品型番3	product_code3	String	○	製品型番1、2、3が記載された場合は、同等品として選択可能な状態を表す							
				リリース時期3	release_time3	String	○								
				位置情報			所属階	floor	String			○			
							寸法情報			製品		総高さ	height	Double	○
	ゴム外径	diameter_outer	Double	○	mm										
	接合情報			取付けフランジ	ゴムのせん断弾性係数	G	Double	○	N/mm2						
					形状係数 S1	S1	Double	○							
				取付けボルト	形状係数 S2	S2	Double	○							
					外径寸法	size_flange	Double	○							
					上部厚さ	t_flange_top	Double	○	mm						
					下部厚さ	t_flange_bottom	Double	○	mm						
					径	D_bolt	String	○							
					本数	N_bolt	Integer	○							

## 1. BIMオブジェクトの標準化【設備分野】

■標準Ver. 2.0(設備分野)を見直し、標準 Ver.2.1^(2026年2月公表)

## 主な修正点

- ・ **前年度の標準化TFにおける検討内容の反映**  
必須・推奨項目を精査（建築確認申請上必要な項目、概算で必要な項目の追加など）
- ・ **オブジェクトデータの設備BIMソフトへの実装を念頭においた仕様の調整**
- ・ **汎用的に扱えるパラメータを位置づけ、値の入力ルールを共通化**

## BLCJ「設備」仕様属性一覧Ver2.1 設備・電気

[illegible]

## カテゴリー別パラメータリスト 設備・電気

[illegible]

■ 各社の設備BIMソフトにより作成したモデルを用いて、意匠モデルとの情報連携を検証した。

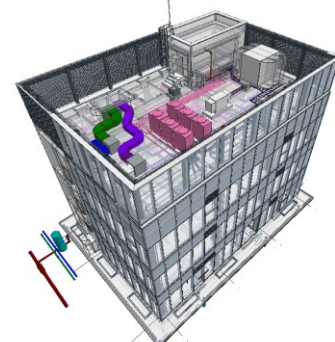
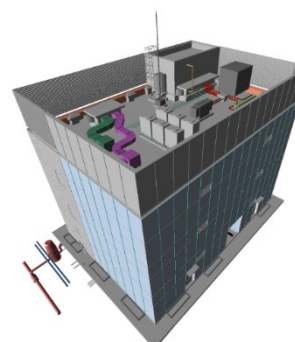
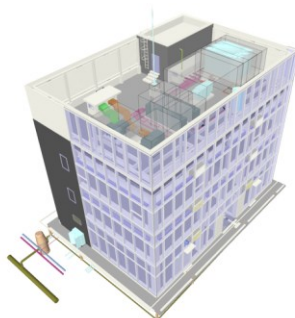
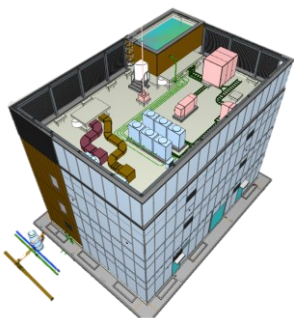
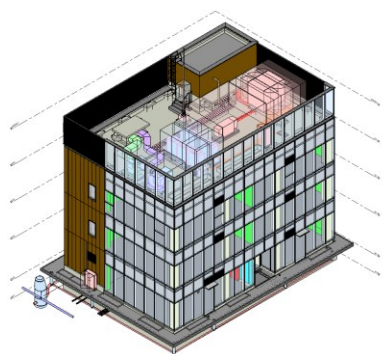
Revit

Rebro

CADWe'll Tfas/LinX

FILDER Ceed

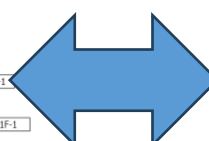
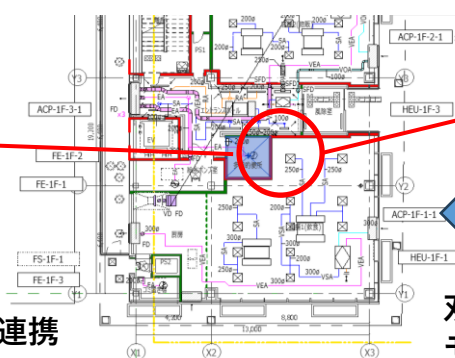
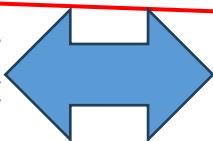
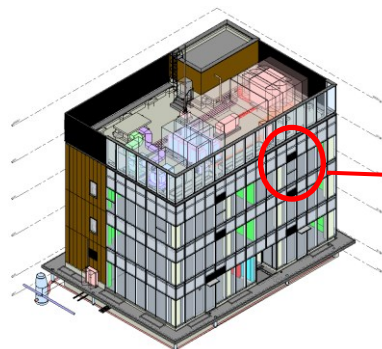
CADEWA Smart



■ 意匠モデルと設備モデルが ①同一ソフト上でデータ連携する場合 ②IFCやCADデータを介して連携する場合の2つの場合について検討した。

【「室名」での検討例】

意匠BIMモデルの「室名」が ⇒ 設備BIMモデルから出力した図面に反映され ⇒ 機器表にも出力される



機器名	室名	仕様	数量	単位	備考
ACF-1F-3-1	101	2000	1	台	
FE-1F-1	101	2000	1	台	
FE-1F-3	101	2000	1	台	
ACP-1F-2-1	101	2000	1	台	
HEU-1F-3	101	2000	1	台	
ACP-1F-1-1	101	2000	1	台	
HEU-1F-1	101	2000	1	台	

①データ連携or②IFC等による連携

双方とも同一モデルから出力